

TOKYO働き方改革宣言

時間単位有休制度を取り入れることで、柔軟な休み方と、より生産性の高い働き方を推進し、ライフもワークも楽しみ、そのシナジー効果により、ますます活気ある職場環境を作ることが宣言する。

平成29年3月31日

株式会社コントリビュート

目標

《働き方の改善》残業時間ほぼなしの現状を維持できるよう取り組む。

《休み方の改善》有給休暇取得率80%を目標とする。

取組内容

《働き方の改善》毎週月曜のミーティングで業務の進捗状況を報告し合い、上司および従業員間のコミュニケーションを図る。それにより、業務の共有化を行い、一部の従業員に業務が集中しないようにする。

《休み方の改善》全休・半休単位での有休取得では、有休取得率向上は難しいため、就業規則を変更し、以前から希望のあった時間単位で有給休暇を取得できる制度を導入する。